

令和2年度 事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

事業所名：すくすく_____

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		内容により他室を使つての個別対応や広いエリアを使つての集団療育などを使い分けを行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		個別対応もできるような十分な配置ができています。
	③	生活訓感、本人わかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		広さが様々な個室、仕切られたエリアがある。ホワイトボードを使つてのスケジュールの視覚化も行っている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日の消毒、清掃など時間を決めて行っている。エリアごとに広さや雰囲気の違い活動に合わせて使用できるようになっている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		定期的な連絡会により意見を出し合っている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年に1回のアンケートにより評価を受けている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		毎年、実施している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		2019年度実施。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		児発センターからの助言、センターへ出向いての研修、情報交換の機会を確保している。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		初期アセスメント、相談からのフェイスシート、保護者やお子さんからの聴き取りに基づき、計画作成を行っている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		法人統一のアセスメントシートを使用
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び行く支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		項目ごとにニーズや状況に合わせた支援内容を設定している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		計画に沿った支援を第一としている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		児発のリーダーを決め、リーダーを中心に他職員の意見も聴きながらプログラム立案を行っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		児発センターでの視察内容も踏まえ、お子さんに合ったプログラムを取り入れている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		個別と集団の効果を知った上で、組み合わせた計画を作成している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		受け入れ前にプログラム内容の確認、スケジュール、役割分担の打ち合わせを行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援後にプログラムの振り返りを行い、気づきや改善点を共有している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録は取れているが、書き方の統一やより次に繋げられる書き方へと改善していきたい。
関係機関や保護者	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		児発管中心にモニタリングと見直しの必要性を判断している。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児発管が参画
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		子ども医療センター、市の自立支援協議会（子ども支援部会）と連携を行っている。
	㉒	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—	医療的ケア児の支援は行っていない。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—	医療的ケア児の支援は行っていない。
		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校			児発を利用中に保育所、認定こども園での状況

こ の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②5	(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		などに変化があれば情報共有を行っている。
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		小学校入学と同時に放デイへ移行し当該事業所を継続利用される方については、情報共有を行っている。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		センターからの視察による助言、センターへ出向いての研修を行っている。センター主催の研修があれば参加させてもらっている。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	今後は、近隣の保育所、学童等との交流が企画できればと考えている。
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		市の自立支援協議会(子ども支援部会)に児発管が参加している。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		事業所へ来られた際やそのまま一緒にプログラムに参加される際など、保護者と情報共有を行っている。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	現在、行えていないため令和3年度ペアトレの研修を受け、まずは職員がスキルを身につけることを目標としている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③2	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約時と変更があった際の適宜の説明を丁寧に行っている。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		計画の作成と見直しにあたって説明を行い同意を得ている。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		利用の前後でお話しする機会を設け、相談援助を行っている。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	実施できていない。今後は、ペアトレを視野に入れグループ面談を取り入れたいと考えている。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情相談の対応窓口を設け、適切に対応している。窓口に限らず話を聞いた職員で随時、適切に対応するようにしている。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月間予定表を配布し、予定の情報を発信している。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		法人統一の個人情報取扱いの注意点を周知して支援にあたっている。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		利用の前後での意思の疎通を心がけている。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	実施できていない。
	非 常 時 等 の 対 応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		④1と同様。
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		事前に保護者に聴き取りを行い、プロフィール情報に落とし込み共有している。
④4		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		現在、対象となるお子さんはいない。
④5		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの記録、共有のため電子記録上のアプリを使い、共有を行っている(朝礼でも活用)。
④6		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的に研修を行っている。
④7		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		身体拘束を行わない支援を大前提としているが、もし必要がある(検討の必要性)場合についてのルールを法人で定めている。

令和3年3月15日公表

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。